



Dentist & Dental technicians Collaboration

Open Seminar

～ 欠損補綴治療において、その一つのケースにかける執念 ～

近年、多様化する補綴治療において、そのほとんどが機能の回復と審美性の改善がターゲットとなります。その要求に対するクオリティは高く歯科医師・歯科技工士のコラボレーションが必要不可欠となる今、実際に臨床の場から、松川 敏久先生、池村 仁克先生、奥森 健史先生をお招きし、その連携と共有化の重要性をご講演頂きます。

Dentist

■ 講師

松川 敏久先生

松川歯科医院

咬合・補綴治療計画セミナー インストラクター /
大阪SJC 相談役 / 大阪SJC レギュラーコース インストラクター
K.S.I. 相談役 / カールツァイス社公認インストラクター



Dental technicians

■ 講師

奥森 健史先生

有限会社デンタルプログレッシブ

咬合・補綴治療計画セミナーインストラクター / K.S.I. 主幹 /
大阪大学歯学部 歯科技工士スーパーバイザー / 大阪SJC 会員 /
日本顎咬合学会 指導技工士 / デンタリード テクニカルアドバイザー /
デントウラム 公認インストラクター /



全部欠損から部分欠損まで、さまざまな欠損補綴治療の術式と実際

欠損における治療においては、インプラントブリッジ、インプラントオーバーデンチャー、フルデンチャーでの修復が考えられるが、天然歯が残存する部分欠損においては全部欠損より補綴設計はより複雑となる。補綴の設計は歯科技工士の持つ技術によっても大きく影響を受けるところである、今回さまざまな欠損に対し高い技術をもった歯科技工士とどのように対応しているかを報告したい。

欠損補綴の目的から考える機能させるパーシャルデンチャー・オーバーデンチャー

欠損補綴において、可撤性装置であるパーシャルデンチャーやインプラントを含むオーバーデンチャーも重要なオプションではないでしょうか。歯を復元させるプロセスには、“色”“形態”という目に見える部分と、それらが欠損歯列に、一体化し目には見えない“力”という部分をどうコントロールするのか、ラボサイドにおいてもその部分をpushして日常臨床に生かせれば、高い水準でチェアサイドとのコラボレーションにつながるのではないのでしょうか。

■ 講師

池村 仁克先生 カメラ歯科矯正クリニック

名古屋SJC 会員

審美とパーシャルデンチャーの融合



SCHEDULE

Seminar 1	12:35 ▶ 14:40	奥森 健史先生
Seminar 2	14:50 ▶ 15:20	池村 仁克先生
Seminar 3	15:30 ▶ 17:25	松川 敏久先生

【概要】

日時	2018年 3月18日(日) < 12:30 ~ 17:30 >
定員	60名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
場所	フクラシア品川 クリスタルスクエア3F 東京都港区港南1-6-41 品川クリスタルスクエア
アクセス	○JR 品川駅港南口から徒歩8分 ○京浜急行 品川駅から徒歩8分

【受講料】消費税込

	歯科医師	歯科技工士	K.S.I. 会員
早期申込 2018年1月末までに受付	9,720円	8,100円	7,020円
通常申込 2018年2月以降に受付	10,800円	8,640円	

協賛：Kansai Skill-up Innovation

K.S.I. OPEN SEMINAR 参加申込書

送信先FAX番号

0120-24-0892

氏名	住所 〒 -		
<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> K.S.I. 会員			
医院名 / ラボ名	TEL	FAX	

◎上記参加書の必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。お申込み後に、受付確認書と、ご請求書をお送りします。

お申し込み・お問い合わせ 株式会社デンタリード 〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15 TEL:06(6396)4448

DAI DENTALEAD